

中村

発行 中村会（愛知県立中村高等学校同窓会）



70周年記念クッキー

「生きていくと いうこと」

令和4・5年度 中村会会長 木村 一郎



未だ衰えを知らぬ新型コロナウイルス感染、国際紛争、地球規模で起こっている自然災害など様々な社会の不安な情勢の中でも、中村会会員の皆様におかれましてはお元気で過ごしのことと推察いたします。

さて、昨年10月28日に、母校の体育館において創立70周年記念行事が開催され、日本マクドナルド株式会社代表取締役社長兼 CEO、日色保氏（29回生）による講演がありました。その講演の中で「ラッシャー」というニックネームで自分が呼ばれたことに驚き、また懐かしさを覚えました。

中村会の活動は、コロナ禍ではありますが、総会をはじめ様々な活動を規模を縮小して開催しているところであります。事務局の方々のご尽力により、母校に対する支援、中村会そのものの運営を展開することができました。事務局の皆様、役員の皆様に心より感謝いたします。また、中村会のホームページのリニューアル、「英気の泉」の法人化について貴重なご意見をいただき前向きに進めております。ぜひ新鮮な情報をホームページから手に入れていただきますようよろしくお願いします。



70周年記念誌

現在の勤務の関係で、様々な企業の方と接する機会があります。時に自分を振り返る機会を与えていただくこともあります。論語にある「任重くして道遠し」を基に、徳川家康が遺訓とした「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如し」という一節を紹介していただきました。私たちもいつまでもじっと耐えているだけではなく、人と人のつながりを広げ、中村会の活動はもとより、わが母校の教育活動が大いに盛り上がりますよう会員の皆様の支援ご協力をお願いして会報の冒頭のご挨拶とさせていただきます。

第68回生の卒業にあたり

愛知県立中村高等学校長 小川 芳範



同窓会の皆様には、日頃から母校の教育活動の推進につきまして御支援をいただき誠にありがとうございます。お蔭様で、日々の学習活動に加え部活動や国際交流事業などの教育活動を意欲的に取り組んでおります。特に、今年度は創立70周年記念事業として同窓会とPTAの皆様の御理解と御支援により本校ホームページを11月1日に全面リニューアルすることができました。評判は上々で、是非一度御覧いただける幸いです。

しかし、コロナ禍は丸3年に及びいまだに出口が見えない状況にあります。教育活動の実施にあたりましては、感染状況を注視しながら慎重に対策をとって進めているところです。部活動では、創作ダンス部が全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸において、2年連続本選に勝ち残り入賞しました。また、国際理解コースでは、昨年度外務大臣賞を受賞した国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクールにおいて、3年連続最終選考に進んでおります。

少子化や県立高校離れなど多くの課題に直面する高等学校は、特色や魅力のある教育の実現に向けた整合性のある指針が必要であり、育成を目指す資質・能力を明確化することが重要とされています。愛知県教育委員会は令和4年4月1日に、各校の存在意義や期待されている社会的役割、目指すべき学校像をスクール・ミッションとして再定義しました。本校は次のとおりです。

- (1) 自ら学び、深く考え、主体的に行動する力と、国際的な視野を備えた生徒の育成を目指す学校
- (2) 正義を重んじ、自らを律する人間性を備え、国際社会の発展に寄与しようとする生徒の育成を目指す学校

共に「国際」の言葉があるとおり、今後も本校は国際理解教育を期待される学校として存在感を示し、名門中村の復活の足掛かりとするよう努めてまいります。そのためには検討中の学校・同窓会・PTAの三者による協働態勢の構築が鍵になると考えております。是非、本校生徒の成長に関心を高く持って三者協働の取り組みに携わっていただきますようお願いいたします。

おわりになりましたが、同窓会の皆様のますますの御活躍を祈念申し上げるとともに、母校の発展のために一層の御理解と御支援をお願いいたします。

愛知県立中村高等学校 創立70周年記念事業

令和4年10月28日（金）午後 中村高校体育館

次第

記念式典 開式の辞 黙祷 国歌清聴 実行委員長式辞 同窓会長式辞
校長式辞 祝電披露 感謝状贈呈者披露 校歌清聴
閉式の辞

生徒会企画

記念講演会 講師 日色 保氏（本校29回生）

日本マクドナルドホールディングス株式会社代表取締役社長兼 CEO

演題 「これからの社会を生き抜く力」

さわやかな秋晴れの午後、創立70周年記念式典が行われた。コロナ対策として全員が一同に集まることができないため、在校生2、3年生は体育館、1年生は教室で、PTAと同窓会役員は視聴覚室で中継を見る形で参加した。式典は国歌静聴に始まり、実行委員会から3人が式辞を述べた。実行委員長である酒井英樹 PTA 会長（本校36回生）は「好奇心、情熱、勇気を持ち、これからの中村を築いていきましょう」と在校生を励ました。木村一郎同窓会長（18回生）は「26,000人を超える卒業生がさまざまな業界で活躍している。誇りに思っ



ニューアルにお礼を申し上げます。今後多様な価値を認める社会の担い手を育成していきます。地域に認められる学校になりつつあり、今後も教員一同努力してまいります。」と決意を述べた。校歌もコロナ対策のため斉唱することができず、清聴して式典は閉じられた。

続いて記念講演会として、本校29回生、日色 保氏（日本マクドナルドホールディングス株式会社代表取締役社長兼 CEO）が講演した。

冒頭で「38年ぶりに本陣から学校まで歩いてきたら、覚えている店もあった。」と風景を懐かしんだ。社長を務めるマクドナルドの説明を詳しくされた。「1948年にカリフォルニア州に1号店ができ、今や百カ国以上の国に約4万店舗が存在する。日本では1971年、銀座に1号店が登場、アメリカで流行の食べ物ととらえられた。日本では一年で約14億食を販売、つまり国民全てが1年間に11回来る計算になるほどの人気店となった。」中村高校での思い出も忘れずに紹介。「学校群の5群、名西一中村を受験して入学した。文化祭では大きな張りぼてを作った。応援団ではボディペイントをして仮装行列をすることが伝統だった。担任が『ラッシャー木村』、バスケットボール部に所属するがあまり熱心ではなく補欠の、数学が苦手な普通の高校生だった。浪人しようと思っていたがなんとか静岡大学に現役で入学するも、ひたすらアルバイトに明け暮れ、流行の洋服の購入につぎ込んだ。」

社会への入り口についても披露された。「一番初めに内定をくれた外資系医療会社のジョンソン＆ジョンソンへ入社した。後から調べると、時価総額世界トップ10のいい会社だった。医薬品、手術器具が主力で、腹腔鏡手術が普及しはじめたころだったので、営業に多くの病院を回った。責任の重さに学生気分が一気に吹き飛んだ。その後米国赴任を含め、マーケティングなど多様な仕事を経験し、グローバル企業の中で経営について学んだ。2018年マクドナルドへ転職



した。最初の4ヶ月間、Tシャツにジーンズ姿でクルーとして働いた。」若い高校生に向けて、これからの社会を生き抜く力を説く。「人はなぜ働くのか。自分のため、社会のため、生活のため。これからは少子高齢化、労働力人口の減少、技術革新、グローバル化と厳しい環境になる。特に技術革新のテンポは早く、種々の仕事がAIやロボットに置き換わってしまう。グローバル化が進むと多様な製品が低コストで生産販売されるなどメリットもあるが、格差拡大・産業の空洞化などデメリットも大きい。誰もが無関係ではいられないグローバル化社会で活躍するためには、ツールとしての英語は不可欠である。40年前の私は何もない高校生だったが、それはポテンシャルがあるという意味でもある。みなさんにも無限の可能性がある。卒業生として皆さんを応援して

います。」

日色氏は、視聴覚室に移動してPTA・同窓生としばし懇談した。そこに参加した現役生徒会長・副会長に聞いた。生徒会長の松田賢一郎レムニル君（1年）「オーラがすごいと思ったら、親近感を感じる人でした。国際理解コースに所属しているので、日色さんの「英語は確実な投資」というところに共感しました。将来は海外で活躍するパイロットになりたいです。」副会長の緒川優衣さん（2年）「苦手な教科があって将来に不安を感じていたが、お話を聞いて大学で決まるわけではないと知りました。将来に向けて鼓舞された気がします。」とさわやかに答えてくれた。



学校だより1 「グローバルフロンティア研修」

国際理解教育の一環として、今年度より1年生全員を対象とした「グローバルフロンティア研修」が行われています。

1・2日目は英語のスピーキングや身近なトピックをテーマに生徒同士でのディスカッション、異文化理解について学びました。3日目は、海外で活躍する日本人の方とオンラインでつながり、オンラインセッションを行う予定です。

**研修1日目の
生徒満足度は
なんと98%!**

- 目的
- ・英語でのコミュニケーションを通じ、自己発信力を高めさせる。
 - ・異文化理解や多文化共生について考えを深め、多様な価値観に興味を持たせる。
 - ・英語が通じる成功体験を積み重ね、学習意欲を喚起する。
 - ・自分の将来像を日本ベースだけでなく、地球規模で考えさせる。

日程（全3日）

- 1日目 7月13日（水）4時間
- 2日目 12月15日（木）4時間
- 3日目 3月8日（水）2時間

同窓会は、母校の国際理解教育を支援しており、本研修では3日目のグローバルキャリアレクチャーの実施に関連する資金援助を行っています。



第67回 中村会 総会

令和4年5月22日(日)10時より、中村会総会がルブラ王山にて開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大により、一昨年は校内での縮小開催、昨年は中止となりました。今年は懇親会は中止としましたが、総会・講演会を例年通りルブラ王山で開催することができました。令和4・5年度執行部役員も承認され、いよいよ創立70周年の年が開幕しました。



総会後の講演会は、「ヨーヨーで世界とつながる」と題しまして、45回生の三居弘典さんにご講演をいただきました。三居さんは、高校時代から始められたヨーヨーで世界チャンピオンになられたのち、ヨーヨーを販売する会社を起業し、現在は岩倉市のふるさと納税の返礼品となるヨーヨーも販売されています。来年度はヨーヨーの世界大会が日本で開催される予定だそうです。見事な技も披露していただき、楽しく和やかな講演会となりました。



令和5年度中村会 総会・講演会・懇親会の御案内

日 時 令和5年5月21日(日) 10:00~13:30
会 場 ルブラ王山(地下鉄東山線「池下」駅下車、東へ徒歩3分)
名古屋市千種区覚王山通8-18
電話 052-762-3151
次 第 受 付 9:30~10:00
総 会 10:00~10:30
講演会 10:30~11:30
懇親会 11:40~13:30
(感染症予防対策を行い、実施する予定ですが、場合によっては中止となることもあります。その際はホームページ等でお知らせいたします。)
会 費 懇親会のみ有料(当日お支払いください)
一般会員 5,000円 学生会員 1,000円
○今年の卒業生(68回生)は無料

申 込 出席の場合は、同封のはがきを使用して、4月21日(金)までに投函ください。
欠席の場合は連絡の必要はありません。

講演会講師 立松健一氏(23回生) プロフィール

国立天文台・教授・野辺山宇宙電波観測所長

1978年3月中村高校卒業。京都大学理学部卒業。京都大学大学院修士課程、名古屋大学大学院博士課程修了。理学博士。野辺山宇宙電波観測所研究員、テキサス大学研究員、茨城大学助手、国立天文台助教などを経て、2007年より国立天文台教授。ハッブル宇宙望遠鏡の10倍の視力を持つ国際電波望遠鏡プロジェクト「アルマ」に従事した後、古巣の野辺山に戻り、2017年7月より所長をつとめる。

令和3年度事業報告

◆令和3年度 中村会 役員

会 長	木村 一郎 (18回生)
副 会 長	太田 守彦 (22回生 財務担当)
	高木 靖之 (26回生 総務担当)
	丹後 茂 (29回生 広報担当)
事務局長	山口有里子 (36回生)
会 計	江口 基 (42回生)
監 査	水野 圭爾 (26回生)
	伊藤 太亮 (45回生)

◆令和3年度 中村会 事業報告

- 1 総会及び講演会の開催 (中止となりました)
- 2 会報の発行 (第19号)
- 3 HP の運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 PTA との連携事業の推進
- 8 縦のつながりの増強活動
- 9 常任幹事の増強
- 10 運営業務の効率化
- 11 70周年に向けての準備

令和3年度 中村会 決算報告

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額①	執行額②	差額②－①	備 考
前年度繰越金	4,241,793	4,241,793	0	
入 会 金	1,560,000	1,540,000	-20,000	第67回卒業生308名×5,000円
雑 収 入	207	0	-207	
計	5,802,000	5,781,793	-20,207	

支出の部 (単位：円)

科目	予算額④	執行額⑤	差額④－⑤	備考
事 業 費	100,000	0	100,000	
HP運営費	350,000	812,328	-462,328	プロバイダー(ASAHI ネット12ヶ月分=66,528) 管理改修費22,000×6ヶ月、HP リニューアル661,380
通 信 費	20,000	6,232	13,768	料金後納、会報発送・はがき 等印刷・諸作業
会 報 費	900,000	829,029	70,971	会報19号印刷
総会施設費	0	0	0	(総会を実施しなかったため)
名簿管理費	250,000	0	250,000	データ管理、データ出力
諸 雑 費	10,000	2,750	7,250	振込手数料
慶 弔 費	40,000	0	40,000	
会 議 費	10,000	3,524	6,476	会議飲料代等
予 備 費	100,000	0	100,000	
繰 越 金	4,022,000	0	4,022,000	
計	5,802,000	1,653,863	4,148,137	

残高の部 (単位：円)

収入額計	支出額計	次年度繰越金
5,781,793	1,653,863	4,127,930

令和4年度事業計画

◆令和4年度 中村会 役員

会 長	木村 一郎 (18回生)
副 会 長	太田 守彦 (22回生 財務担当)
	高木 靖之 (26回生 総務担当)
	加藤 伸夫 (26回生 広報担当)
事務局長	山口有里子 (36回生)
会 計	門口 賢司 (27回生)
監 査	水野 圭爾 (26回生)
	杉嶋 重男 (26回生)

◆令和4年度 中村会 事業計画

- 1 総会及び講演会の開催
- 2 会報の発行 (第20号)
- 3 HP の運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 PTA との連携事業の推進
- 8 縦のつながりの増強活動
- 9 常任幹事の増強
- 10 関東支部の支部総会の実施
- 11 運営業務の効率化
- 12 70周年記念事業の準備・実施

令和4年度 中村会 予算

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	備 考
前年度繰越金	4,127,930	
入 会 金	1,565,000	5000円×313名 (R4年度 第3学年68回生 4月時在籍数)
雑 収 入	70	
計	5,693,000	

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額	備 考
事 業 費	100,000	奨学金
HP 運 営 費	100,000	CMS ライセンス料、 HP 更新依頼料金等
通 信 費	20,000	料金後納 郵送費等
会 報 費	900,000	会報20号印刷、会報発送関連費 (発送 費・封筒・ハガキ作成・諸作業等)
総 会 施 設 費	100,000	総会会場使用料
名 簿 管 理 費	100,000	SALATO メンテナンス契約料 (55,000円) 等
諸 雑 費	10,000	振込手数料
慶 弔 費	40,000	
会 議 費	10,000	役員会
予 備 費	100,000	
70周年記念事業費	2,000,000	R 4 年度のみ特別費目 70周年記念実行 委員会会計へ支出
繰 越 金	2,213,000	
計	5,693,000	

学校だより2 今年もこんなに活躍しました！ 部活動記録

◆体操競技部

- ※令和3年度愛知県高等学校名古屋北・名古屋南・知多支部 体操競技 学年別大会
 - ・2年生男子個人総合 優勝
 - ・2年生男子個人総合 5位
 - ・2年生男子個人総合 8位
 - ・1年生女子個人総合 7位
- ※第76回愛知県高等学校総合体育大会 体操競技 名古屋南支部予選会
 - ・男子団体総合 2位 得点133.450
 - ・女子2部団体総合 2位 得点69.850
- ※第76回愛知県高等学校総合体育大会 体操競技(県大会)
 - ・男子団体総合 3位 得点131.800
- ※令和4年度愛知県体操競技選手権
 - ・少年2部男子 5位
- ※令和4年度愛知県高等学校新人体育大会 体操競技 名古屋南支部予選会
 - ・男子団体総合 2位 得点98.000
 - ・女子団体総合 2位 得点93.450
- ※令和4年度愛知県高等学校新人体育大会 体操競技 県大会
 - ・男子団体総合 6位 得点121.850
 - ・女子団体総合 4位 得点97.050
- ※令和4年度愛知県高等学校 名古屋北・名古屋南・知多支部 体操競技 学年別大会
 - ・1年生女子の部個人総合 6位
 - ・1年生女子の部個人総合 2位
 - ・2年生男子の部個人総合 6位

◆弓道部

- ※第76回愛知県高等学校総合体育大会 弓道競技 名古屋南支部予選会
 - ・男子団体の部 3位 中村高等学校 A

◆卓球部

- ※第42回名古屋市内在立高校卓球大会
 - ・男子団体の部 3位
- ※第43回名古屋市内在立県立高等学校体育大会 卓球競技大会
 - ・男子団体 3位
 - ・男子個人 3位
- ※令和4年度愛知県高等学校新人体育大会 卓球競技 名古屋南支部予選会
 - ・男子学校対抗 準優勝(県大会出場)

◆サッカー部

- ※第76回愛知県高等学校総合体育大会 サッカー競技 名古屋南支部予選会 5位
- ※第101回全国高校サッカー愛知県大会 名古屋地区予選会・優勝

◆水泳部

- ※第76回愛知県高等学校総合体育大会 水泳競技 名古屋南支部予選会
 - ・男子50m自由形 4位 記録25秒18
 - ・男子400mメドレーリレー 6位 記録5分10秒47
 - ・男子400mフリーリレー 6位 記録4分02秒95
 - ・男子総合 7位 記録21点
- ※第43回名古屋市内在立県立高等学校体育大会水泳競技大会
 - ・男子100m自由形 3位 記録56秒75
 - ・男子200m自由形 3位 記録2分06秒78
 - ・女子100mバタフライ 3位 記録1分10秒72
 - ・男子200m個人メドレー 2位 記録2分21秒96
 - ・男子50m自由形 3位 記録25秒28
 - ・女子100m自由形 3位 記録1分04秒92
 - ・女子200m背泳ぎ 3位 記録2分54秒05
 - ・男子400mメドレーリレー 2位 記録4分25秒85
 - ・男子400mフリーリレー 2位 記録3分53秒15
 - ・男子総合 3位 得点62点

- ・女子総合 4位 得点50点
- ※第59回名古屋地区高等学校水泳競技大会
 - ・男子200m個人メドレー 7位 記録2分23秒00
 - ・女子200m平泳ぎ 6位 記録3分06秒04
- ※令和4年度愛知県高等学校新人体育大会水泳競技名古屋支部予選会
 - ・男子400m個人メドレー 4位 記録5分10秒17
 - ・女子100m平泳ぎ 5位 記録1分23秒96
- ※第7回びわ湖トライアスロンin近江八幡
 - ・ジュニアの部高校生男子 1位 記録37分14秒
- ※キッズトライアスロンin西尾一色2022
 - ・高校生男子 1位 記録35分9秒
- ※第15回川崎港トライアスロンin東扇島兼第9回川崎キッズ・ジュニアトライアスロン大会
 - ・スプリントの部男子 2位 記録1時間07分37秒

◆創作ダンス部

- ※第34回全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸
 - ・創作コンクール部門 入選(決勝進出) 作品「紡くーアーン・サリヴァンの軌跡ー」

◆男子バスケットボール部

- ※2022 AONAMI CUP 第3位

◆吹奏楽部

- ※2022年度愛知県吹奏楽コンクール名古屋地区大会
 - ・ブライマリーの部 銀賞

◆第68回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール・外務大臣賞

- ◆愛知県高等学校文化連盟・特別賞
 - ・外務省主催第68回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクールにおいて特賞を受賞された功績を讃えて、愛知県高等学校文化連盟特別賞を授与する

■賛助会費納入のお願い

●賛助会費 入金先

郵便振替 00850-6-185948
中村高校同窓会 賛助会費
※振込手数料はご負担ください。

賛助会費とは、同窓会の活動を支える大事な収入源です。同窓生の皆さんに毎年2,000円または終身50,000円の会費納入をお願いしています。

本会報同封の2種類の振込用紙(郵便局に加えてコンビニでの納入も可能になりました)をご利用頂き、上記の口座へ納入をお願いいたします。

●賛助会費収支状況(令和3年度決算)

前年度繰越金	当年度収入	当年度支出	次年度繰越金
2,831,132	648,665	57,022	3,422,775

■同窓生で氏名・住所変更された方は事務局までご連絡ください。

事務局

TEL: 052-411-7760 (中村高校)
FAX: 052-413-5357 (中村高校)
E-mail: Web ページからご連絡ください。

■会報の発送について

会報は年1回、2月末に発行しており、賛助会費納入者および卒業回生の下ケタを基準に5年に1度のサイクルで全卒業生の皆様に発送しています。今号は下ケタが「3」「8」の回生が対象で、次号は「4」「9」の回生が対象となります。中村会ホームページでは毎号掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

■母校支援基金「英気の泉」への募金をお願いします

●英気の泉 募金入金先

三菱UFJ銀行柳橋支店 普通4709739
英気の泉 萩原義昭
※振込手数料はご負担ください。

母校支援基金「英気の泉」は、中村高校の在校生の諸活動に対する同窓会からの資金援助を行うための基金で、校歌の一節をとり、在校生の英気を資金面から援助する「泉」となっています。

最近では、在校生の海外短期留学や部活動の遠征交通費支援、部活動器具・道具の修理・購入などを行っています。

ぜひ在学生のためにこの泉を枯らさないように皆さんのご厚志をよろしくお願いいたします。

●「英気の泉」収支状況(令和3年度決算)

前年度繰越金	当年度収入	当年度支出	次年度繰越金
1,407,547	460,612	30,000	1,838,159

●令和3年度援助事業

中村ダンスフェスティバル開催御祝 30,000円

●令和3年度寄付者等(敬称略)

岡田 順一(元校長)、萩原義昭(10回生)、ハッタシュウイチ、内堀、キトウマサノブ、マツヤマサトシ、匿名希望

■中村会ホームページ

<https://www.nakamurakai.jp/>

■中村会 facebook ページ

<https://www.facebook.com/nakamurakai.aiichi/>